

創造性に富む研究で、未来に貢献する若手研究者を顕彰

第15回

三島海雲 学術賞募集

対象分野

- 自然科学部門 食の科学に関する学術研究
- 人文科学部門 アジアに関する人文社会科学諸分野の学術研究（日本に関わる研究も対象とする）

三島海雲学術賞とは

「カルピス」の生みの親である三島海雲は、1962年に自らの全財産を投入し、三島海雲記念財団を設立。本賞は三島の「自然科学と人文科学の学術振興こそが日本の発展の原動力となり、人類の福祉の向上に寄与する」という思いを継承し、2012年、財団設立50周年を機に創設されました。

三島海雲学術賞は、自然科学及び人文科学の研究領域において、創造性に富み、とりわけ優れた研究能力を有する若手研究者を顕彰し、その研究の発展を支援します。



応募受付期間

2025年8月1日 — 9月30日

選考方法

選考委員会で厳正な審査の上、決定されます。

応募資格

対象分野において、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者。若手とは45歳未満の者（2026年4月1日現在）を指すものとします。日本在住の研究者及び海外在住の日本人研究者。人文科学部門は著書（単著）があること。

表彰内容

賞状並びに副賞 300万円
自然科学部門（2件以内）、人文科学部門（1件以内）

受賞者発表

2026年6月、当財団ホームページ等に掲載

推薦形式

所属機関の部局長の推薦を要します。人文科学部門は著書の出版機関の推薦も可とします。

贈呈式

2026年7月上旬

Mishima Kaiun
Memorial
Foundation

